



第30回

成蹊桜祭

Seikei Alumni Association

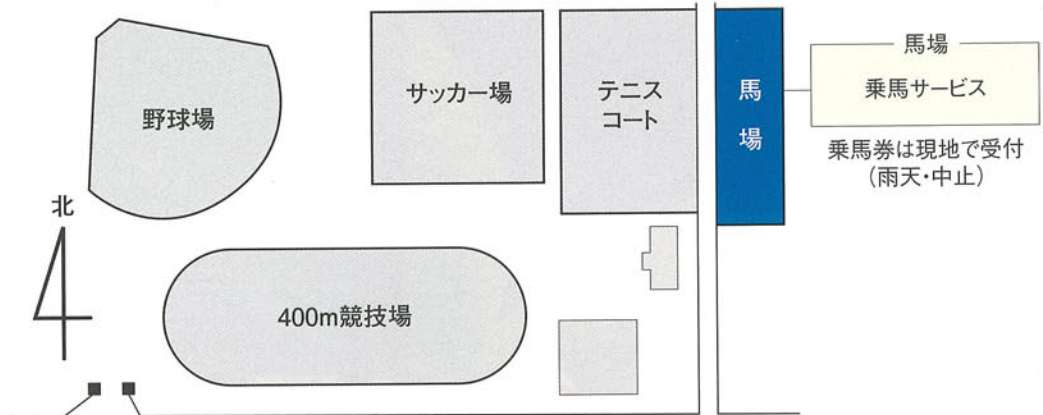
図案：成蹊高校2年 柴田 裕基

日時：平成19年4月1日（日）雨天決行 午前11時～午後4時

会場：成蹊学園内

主催：社団法人 成蹊会（成蹊桜祭実行委員会）

後援：学校法人 成蹊学園



- 献花
- ・中村春二先生胸像
(A:情報図書館前
・本館一階)
 - ・今村繁三氏胸像
(B:情報図書館前)
 - ・岩崎小弥太氏レリーフ
(C:前庭)
 - ・戦没者慰霊碑
(本館中二階)

駐輪場
(西側一帯)

成蹊中学校
入試相談テント

総合受付テント

前庭
茶道部野点
(雨天:学生会館脇)

ペットの持ち込みはご遠慮下さい。

自転車は駐輪場へ入れて下さい。

- 成蹊桜祭30回を迎えて -

成蹊桜祭の思い出



政治経済学部 第1回卒業
石坂 泰彦

成蹊の桜祭も今年で30回になるという。第1回は、昭和53年4月2日の日曜日でした。成蹊学園に大学が出来、昭和27年に第1回の卒業生が出てから20数年が経ち卒業生の間にも少し余裕ができ、同時に母校が懐かしくなった頃のことです。OBの森一也君、山本亨介君等と話し合い、桜の咲く頃皆で集まろうということに意見一致、大日精化工業の高橋靖君、DMS社の山本兄弟の強力な支援の下、第1回の桜祭を催す運びとなりました。私は第1回から世話人代表をさせていただきましたが、多くの先生

方、各学校のOB・OG、ご父兄の方々が千人近く集まり、桜並木の下で杯を傾け、或いは寮歌を歌い、オーケストラが校歌を奏で、楽しい一日を過ごすことができました。

思えば、私と成蹊の桜との出会いは、今でも忘れられぬ小学校1年生の時の、最初の理科の時間であります。本館の今の事務室の窓から桜並木が見える理科室で、栗山先生から桜の花の花びら、おしべ、めしべの授業を受けた時に始まります。そして担任の西原先生、園芸の三上先生のもとで、桜並木の植込みの草むしりをしたことも、昨日のこのように思い出されます。成蹊の桜並木は、櫛並木、前庭のヒマラヤ杉と共に吾々の幼年時代、青年時代の思い出にとって切っても切れぬものがあります。

桜祭が回を重ねる毎に何よりも嬉しかったことは、年々参加者が増え、小学生の太鼓を始め、大学生のチアリーダーも加り、各教室ではゼミや運動部のOB会、クラス会の集まりが増えたことです。旧制高校のOBの方々も谷岡成蹊会会長を始め、昔のラグビー・プレーヤー石黒さん、虹芝寮の主、井上烈さん、今でも続いている本館正面の戦没者慰霊碑に献花された長谷川ご兄弟等、お名前をあげ始めたらきりがありません。

たしか第5回目の頃、学園から桜祭の主催者を学園に移したいという話がありました。学園でやっていたければ財政面を始めとして何かと吾々が助かることは確かでしたが、議論の末、私としてはOB主催の会にしたいと主張し、桜祭委員会主催（その後成蹊会主催）とさせていただいた経緯もありました。このことが私が長年世話人を辞められなかった一因だったかも知れません。

毎年、4月の第1日曜日は年によって、桜が満開の年、蕾だけの年、花吹雪の年、或いは花が散り若葉になった年等それぞれの風情を見せてくれます。何よりも感謝に堪えないことは、裏方として準備、後片付けをして下さった委員の方々、学園の方々のご協力です。

年々歳々花相似たり、
歳々年々人同じからず（唐詩選、七古）

成蹊学園の桜祭が年々盛んになり、桜の花の下、旧友、恩師との再会を喜び会える機会が、何時までも続くことを望んでやみません。

第一回桜祭写真



【会場の様子】



【世話人代表・石坂泰彦氏】

成蹊桜祭誕生の頃



政治経済学部 第6回卒業
高橋 靖

今から31年前になりますが、当時の成蹊会常務理事、今は亡き谷岡喜久蔵氏（後の成蹊会会長）から、学園への寄付募集に協力する話が、当時私が会長を務めておりました政治経済学部同窓会の委員会に持ち込まれ、我々に当てられた分担額がどうしたら集まるか話し合いました。討論の中で、寄付をしてもらうには、OBの愛校心、親近感を強めることが重要で、それには学園が誇る見事な桜の時に、OBを集め、楽しむことができれば良いのではないかと今井正継氏から意見が出て、みんな大賛成しました。すぐさま翌年実行しようということになり、こ

こに桜祭実行委員会が発足しました。石坂泰彦氏に世話人代表をお願いし、山本良介氏と森一也氏（故人）が行動を起こし、山本亨介氏（良介氏・兄）に学園とのパイプ役になってもらい、経済学部同窓会・小川孝一会長、文学部同窓会・桑田桂子会長、工学部同窓会・岡田健会長、法学部同窓会・畑田正樹会長、旧制高校関係・山本亨介氏、学園総務部、学園施設部、学園教職員、運動部連合、文化部連合等、それぞれの協力を得、また、山本亨介・良介両氏の会社 DMSと私の大日精化工業の成蹊OBたちがボランティアとして事前の設定や後片付けの仕事に動き回りました。

開催日は小学校の入学式を避けて四月の第1日曜日としましたが、当時は今日のように温暖ではなかったので、残念ながら主役の花はひとつも開きませんでした。花がないのでは始まらないと、秘策として山本亨介氏が造花を買い込んできてくれ、前日の土曜日、固いつぼみしかついていない桜並木にみんなではばりつけました。

桜祭当日は石坂世話人代表の挨拶から始まり、司会は藤田暉夫氏、模擬店関係は鈴木昭郎氏が取り仕切り、会場関係は小川孝一氏に、場外で大変であった駐車場の整理は浅田衛氏に、学校関係は野村敏朗氏にお世話になりました。

何しろ初めて手がけることばかりですから試行錯誤の連続でしたが、駐車場の整理、OB戦の開催、模擬店の出店勧誘と管理、広告の獲得、式典及びアトラクションの編成と実行など、お祭りとして形を整えていたのは、成蹊と共に歩んできた関係各位の協力の賜物と思います。来場者は4~500名を予想していたのですが、これを遥かに超え、盛大に行なわれました。

次回からは成蹊小学校器楽クラブの演奏や、今も続いておりますが、馬術部の協力で、子供向けに乗馬体験が加わり、子供やその父兄にも大勢来ていただけるようになりました。模擬店の方は儲かったかどうかわかりませんが、会場が大変賑わい、祭気分が出ました。

当初は寄付（=愛校心）を募ることを目的とした行事で発足しましたが、各部OBの集まりの他に、ゼミのOBの集まりと、卒業後疎遠になっていた卒業生達が旧交を温めることができたのは何よりと思います。我々が立ち上げた第1回から、30年経った今も尚続く今日の桜祭の賑わいは夢のようです。

桜祭は、成蹊学園とOBの集まりである成蹊会の絆を結ぶ大切な行事です。桜祭30回は、第1回と異なり、温暖化の今日、春爛漫・満開の桜の樹の下で開かれることを祈って結びといたします。



【本部テント】



【高橋 靖氏】



【パンフレット】

● 桜祭各会場の紹介(予定) ●

イベント広場 (本館前)	プログラムは下記 (雨天:学生会館) ……………	11:00~16:00
本館東側・前庭	お祭り広場……………	11:00~15:30
	模擬店出店……………	11:00~15:30
	茶道部野点 (雨天:学生会館脇)	
馬場	乗馬サービス (雨天:中止) ……………	11:00~15:00
	(乗馬券は現地で受付/馬術部)	
本館北側 (中庭)	ソーラーカー……………	11:00~15:00
大学情報図書館前	盲導犬の体験歩行 (アイメイト協会)	
	エアートランポリン……………	12:00~15:00
	模擬店出店 ……………	11:00~15:30
大学4号館	グリークラブOBコンサート ……………	13:30~14:00
	JAMZ(ジャムズ)OBストリートダンス ……………	15:15~15:45
大学2号館・学生会館	各同窓会・クラス会……………	11:00~15:00
小学校給食棟3F (学生会館北側)	軽音楽部OBライブ ……………	11:00~15:00
学園史料館	①卒業生よりの寄贈品の紹介……………	11:00~15:30
	②先生とOBとの写真展 ……………	11:00~15:30

★キャンパスツアー (集合場所:学園史料館)

「母校の現在」を知っていただくために構内ツアーを行います。

集合時間は、12時・13時・14時の3回実施(予定)します(所要時間は約40分)。

★イベント広場プログラム (予定)

司会: 田島 葉子 (文・平成13年卒) フリーアナウンサー (元テレビ金沢アナウンサー)
 廣瀬 なおみ (経済・平成18年卒) フリーアナウンサー (川崎フロンターレ専属レポーター)

ステージ			
11:00	A	オープニング 開会の挨拶 第30回成蹊桜祭について	小学校和太鼓 桜祭実行委員会委員長
11:40	B	寮歌・運動部部歌	旧制高等学校有志
12:00	A	演奏	OBオーケストラ・コーラス
12:45	B	演奏	軽音楽部OBバンド
13:15	A	演奏	成蹊ウインドオーケストラOB・OGバンド
13:45	B	演技	応援指導部チアリーダー
14:00	A	デモンストレーション	JAMZ(ジャムズ)OB・ストリートダンス
14:15	B	デモンストレーション	競技ダンス部
14:30	A	演奏	コンパルサウンズ (OB)
14:55	A	演奏	ベンチャーズバンド (OB)
15:30	A	閉会の挨拶	桜祭実行委員会副委員長

※雨天の場合は時間を変更して学生会館1階で行います。

お忘れてないですか?

成蹊会費

桜祭は成蹊会費と成蹊学園の協賛金によって運営されています。
 成蹊会年会費のご納入はその都度お手数をお掛けしない預金口座振替・成蹊会DCカードをご利用ください。

(成蹊会 TEL 0422-51-2244)

校歌 作詞／志田義秀 作曲／信時 潔

- 一、土の育くむ 武蔵原野の林 二、昨日の吾を 超えし輝き尊し 三、字は大なり 母校成蹊の宇
空を限りて 秩父連峰走る 吾が野に萌ゆる 草の語るに聞かずや 一つに集う 族吾等の園の
聞けよ吾等が 心力歌の生命 白光の空 高くそそる筑波と 愛の象徴 井の頭の泉よ
この地この歌 吾等讃えん 共に向上の 吾等の姿 陽は野の上に 吾等の上に
その名 お、成蹊 その名 お、成蹊 その名 お、成蹊

虹芝寮歌(山の友によせて) 作詞・作曲／戸田豊鐵

- 一、薪割り飯炊き小屋掃除 二、前傾 外傾 全制動 三、唐松萌ゆる春山に
皆んなで皆んなでやったっけ 皆んなで皆んなでやったっけ 皆んなで皆んなで行ったっけ
雪解け水が冷たくて 新雪が深くてラッセルに 思わぬ残雪に輪カンはき
苦勞したことあったっけ 苦勞したことあったっけ 苦勞したことあったっけ
今では遠く皆んな去り 今では遠く皆んな去り 今では遠く皆んな去り
友を偲んで仰ぐ雲 友に便りの筆をとる 友の姿を夢に見る

学習漫画『中村春二～大正自由教育の旗手～』の紹介

成蹊学園創立者中村春二先生の学習漫画『中村春二～大正自由教育の旗手～』が小学館より刊行されています。

中村先生の教育にかける情熱、成蹊教育を支え続けた賛助員の今村繁三氏と岩崎小弥太氏との三人の友情、そして少人数による人格教育等が私塾「成蹊園」並びに「成蹊実務学校」設立の過程を通して描かれており、成蹊建学の精神を知ることができる内容になっています。成蹊学園が監修し、昨年の故林忌（2月21日）に発売されました。

購入ご希望の方は、成蹊会（0422-51-2244）又は紀伊國屋書店成蹊学園ブックセンター（0422-36-0360、E-mail：sg00@kinokuniya.co.jp）までお問い合わせ下さい。通常価格1,260円（税込）を、割引価格で販売いたします。（送料別途）



桜募金のお願い

母校の桜の保存と整備など学園環境の整備のための募金にご協力下さい。

成蹊学園の桜は樺と並ぶ学園を象徴する樹木です。構内には大正13年に学園が池袋から吉祥寺に移転してきた際に、樺とともに植えられたソメイヨシノの桜並木（樹齢80年以上）のほかヤエザクラ、シダレザクラなど120本を超える桜があります。

一 成蹊会カードがリニューアルしました一

学園教職員・学生・学園在校生ご父母もお申し込みいただけます。

- ① カードフェイスを一新。
- ② 発行対象を拡大。
- ③ 年会費が更に安くなりました。
- ④ 大学図書館（新情報図書館も）入館・開架閲覧ができます。



- ※ カード利用額の一部が成蹊会に還元され、母校支援に貢献します。
※ お申し込みは成蹊会事務局まで（0422-51-2244）

一 成蹊学園の地域清掃活動に卒業生も参加しませんか！一



母校成蹊学園では「建学の日」を含む年4回、在校生・教職員・卒業生が「地域清掃活動」を行っています。学生をリーダーとする班を編成して、学園近隣から吉祥寺駅周辺に至る市街地を清掃します。

特に学園建学の日（3月23日）に合わせて行われる地域清掃では、初めに本館講堂で成蹊教育における精神統一法の「凝念」を行い、「心力歌」を唱和して清掃に望みます。

年4回の地域清掃活動にぜひ卒業生の皆様もご参加ください。日程につきましては成蹊会ホームページまたは成蹊会事務局までお問い合わせ下さい。

（成蹊会事務局：0422-51-2244）